



青少年指導員だより

金沢区

Youth 21

横浜市青少年指導員  
シンボルマーク

発行 金沢区青少年指導員協議会

編集 広報部会

金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所 地域振興課内

電話 (045)788-7805

FAX (045)788-1937

## 活気あふれた！ 2023いきいきフェスタ！

秋晴れの10月21日(土)10時から「第49回金沢まつり2023いきいきフェスタ」が、海の公園で開催されました。

事業PRコーナーには、89団体が出店したほか、砂浜ではフラダンスが、芝生園地には特設ステージが設けられ、25団体の人達が日頃の練習の成果を披露し、多くの方々が見入っていて大きな拍手をおくっていました。

金沢区青少年指導員協議会も「青少年指導員の活動チラシとおもちゃをセットにして配付」「上半期の活動を紹介したパネル展とぬり絵」「ペンシルバルーン作り」を通じてPR活動を行いました。特に、ペンシルバルーン作りでは「イヌが作れて、とっても楽しかった」という子ども、「剣」を作ってもらい、その場で遊び始める子ども、ぬり絵では「ハロウィーンのぼたんちゃん」を上手にぬれた子ども達に笑顔があふれていました。青少年指導員の標語「子どもの笑顔は社会のだから」そのものでした。



## 富岡小学校でスクールゾーンキャンペーン 諦めず挑戦！

12月9日(土)9時30分より、小春日和のなか、開校150周年を迎えた富岡小学校で、スクールゾーンキャンペーンを富岡小学校職員、PTA、富岡第二地区連合町内会、区職員、青少年指導員の計32人が参加して実施しました。

平成17年度から始まったスクールゾーンキャンペーンは、スクールゾーン周辺にお住まいの方に「見守り活動」の周知、啓発を行うことで、地域、家庭、学校が一体となって児童を見守る気運を高めていくことを目的として実施しています。

富岡第二地区の通学路を東部、中部、南部、シーサイドの4つのコースに分かれて、「子どもの安全を温かい目で見守ってください」という内容の啓発チラシの配布や危ない箇所をチェックしながら、富岡会館まで歩いていきました。

富岡会館では、富岡第二地区の方から「下校児童の交通安全確保への取組み内容」が紹介され、「子どもたちからの元気なあいさつを励みに、今後も児童と地域住民とのふれあいを大切にして、諦めずに活動していきたい」とのお話の後、見守り活動を継続させるために、どう工夫すれば良いのかや各地区からの情報提供をも含め意見交換し、各地区での活動に繋げていくこととしました。







# 地区だより

## 大盛況のみかん狩り

金沢地区

11月3日(金・祝)に金沢地区連合町内会、社会福祉協議会のご協力のもと、恒例のみかん狩りを開催しました。昨年度に引き続きの大盛況で、子ども77名、大人46名の総勢123名の参加がありました。

秋らしい晴天の下、集合場所である区役所そばの走川公園から柴シーサイドファームを目指して歩きます。休憩地点となる海の公園ではちょうど神奈川県中学校男子駅伝競走大会が行われており、子どもたちがお兄さんランナーに元気よく声援を送っている姿も見られました。みんなも元気をもらったようで、最後の難所となる心臓破りの坂も何のそので、予定時間よりも早く到着することができました。係の方からハサミとビニール袋を受け取って、いよいよみかん狩りのスタートです。甘いみかんを探して色々な木を巡ったり、とにかくひたすらに食べまわったり、早々におなか一杯になって違う遊びをしていたり、みんな時間いっぱい思い思いに楽しんでいました。

みかん狩りの後は、みんなで昼食を食べ、レクリエーションのビンゴ大会を行いました。数字を一つ読み上げるたびに、「あったー」「ないー」や「リーチ!リーチ!」と、さまざまな声が聞こえたり、なかなかビンゴが出なくてヤキモキした子どもたちが、だんだんと前のめりになってきたりと、みんな夢中になっていました。

コロナによる自粛期間を経て、みんなで集まって楽しめる良さが感じられるイベントを今後も続けていきたいと思っています。



## 大満足のみかん狩り

六浦地区



11月3日(金・祝)この日は11月に入ったとは思えない夏日となる陽気でした。11月なのに参加者はみんな半袖という今年の暑さを象徴するようなイベントになりました。

太陽が眩しい朝9時。いつものように瀬戸町内会館に集合して、90名ほどの参加者が意気揚々と柴シーサイドファームに向かって歩いていきます。帰帆橋、野鳥橋を渡って海の公園柴口休憩所で一休み。この日は海の公園で神奈川県中学校男子駅伝競走大会が開催されていたため、レースの邪魔にならないように気を付けながらの休憩、移動となりました。選手たちも頑張れ!

山の上にある柴ファームに着くと、ビニール袋とハサミを持ってすぐにみかん畑の中へ。みのっているみかんは大きいもの、小さいもの。色の濃いもの、薄いもの。みかんの木によって様々です。その場で食べてもよし、ビニール袋に入れて持ち帰ってもよし。お腹もいっぱい、袋もいっぱいになって大満足のみかん狩りでした。

甘くて美味しかったです。ごちそうさまでした!



## みかん狩りに行ってきました

金沢中部地区



11月5日(日)、金沢中部地区では、毎年大盛況のみかん狩りを実施しました。お天気は曇り、暑くなく寒くなく、みかん狩り日和でしたね。

ハオテラス金沢文庫で集合し、町内会ごとに受付をしてスタート。この、受付から現地までの引率を、スポーツ推進委員・町内会や子供会の役員の方々が引き受けて下さり、とてもスムーズ。このあたり、支えて下さる方々の「地域力」を感じました。皆さんいつもありがとうございます。

現地について、軽くレクリエーションをしてからみかん園へ。みんな、楽しそうに食べていました。そして恒例のビンゴ大会。たくさんの方が景品をゲットして、お腹もいっぱい荷物もいっぱい、もちろん笑顔もいっぱいでした。

参加した小学生からは「みかん狩りは何度かやった事あるけど、今回は高いところになっている小さめのみかんを取り、それがとても美味しかったからまたやりたい」というコメントを頂きました。背が伸びれば取れるみかんも増える、来年はもっとたくさん取れるかな。

新型コロナウイルスやインフルエンザ、冬には怖い感染症も多いですが、みかんでビタミンを摂れば感染予防にもなりそう。皆さん、お元気で〜。







## 第7回とみにウォークラリー大会～富岡小学校150周年記念～

富岡第二地区

11月3日(金・祝)、「第7回とみにウォークラリー大会」が開催されました。今年が富岡小学校創立150周年にあたり、富小の歴史に触れるコースやラリー途中のチェックポイント(CP)では富小に関するクイズが出題されました。

当日は、11月とは思えない暑い日となりましたが、親子連れや友達同士などスタッフを含め319名の参加者がありました。

コースは、明治6年に富岡学舎として開校した現在の持明院を第一CPとして、開設の古い順にその歴史をたどり、現在の富



小が最終第四CPです。富小の廊下には「富小150年のあゆみ」と題して当時の写真や現物史料などが展示され、参加者は熱心に目を向けていました。CPである富小でのクイズでは、校章のマークに使用されている植物は何か、という問題が出題され、一見難問のようでしたが、校歌の中に答えがありました。

高低差のあるコースで、汗をかきながらのラリーとなりましたが、1時間半から2時間くらいかけてのゴールは、参加者にとって気持ちのいいものとなったようです。また、ゴール後の豪華景品が当たるお楽しみ抽選やお菓子詰め合わせの参加賞も楽しみの一つとなっているようでした。今年も参加者にもアンケートをお願いしたところ、「富小のことを知れてとても勉強になった」「校舎の中に入れてよかった」「富岡をより知ることができた」などの感想が書かれていました。

大会の実施にあたりましては、富小の校長先生はじめ関係者の方々のご協力に改めて感謝申し上げます。

## 笑顔が弾けた六浦西地区ウォークラリー大会

六浦西地区

11月5日(日)に「第33回六浦西地区ウォークラリー大会」が、薄曇りの絶好の天気のもと、昨年を上回る40チーム127名が参加して開催されました。

スタート地点の大道中学校を9時30分、受付順に、緑色や橙色のビブスを着けて順次出発しました。各チームは、道標として横断歩道や学校などの記号が記されているコマ図を見ながら、設定された5カ所(大道小学校、六浦白梅公園、



六浦西第五公園、六浦大道公園、熊野神社)のチェックポイントを経由し、ゴールの六浦西第2公園まで、汗ばみながら全員が完歩しました。

コマ図の見方を誤って迷いに迷った女子中学生

3人のグループ。13時20分、最終グループの親子5人連れて参加した方は、「半日親子で楽しめました」と笑顔でゴールしました。

コロナ対策で、ゴール後の「豚汁」の振る舞いもなく、ちょっぴりと寂しさもありましたが、大道中学校校PTA及びスポーツ推進委員や主任児童員の皆さんの協力もあり、事故もなく、笑顔がたくさん見られた大会となりました。



## 野島で海遊びを楽しもう

シーサイドタウン地区

10月1日(土)に野島海岸で海遊びのイベントを行いました。干潮の海岸でカニやエビ、貝など海の生き物を捕り観察するイベントです。4年ぶりの開催と早朝の雨で不安もありましたが、30名程の方に参加していただきました。

潮が引くにつれて色々な生き物が姿を現してきます。カニやエビが動き回っているのを見ついたり砂を掘れば貝が出てきたりと、それぞれに海遊びを楽しんでいました。ただ、4年前に比べて生き物などの数、種類が少なく、捕れた物を集めて、最後にみんなで観察する予定のミニ水族館が寂しくなってしまうのではと心配していました。そんな時、参加者の中にとっても上手な方がいらして、大きなカニやヤドカリなどを次々と捕まえていきます。とにかく生き物を見つけるのが上手で、「あそこにいる!」「ここにいる!」と言っては捕りまくっていました。そのお父さんのおかげもあり、子どもたちにいろいろな海の生き物の

説明をすることもできました。

個人的には、海藻の「あおさ」をずっと集め続けていた女の子が印象に残っています。それぞれの楽しみ方があるのだと思いました。

体調不良やケガもなく無事に終了することができ、参加していただいた皆さんに感謝しています。





## BFC野島一泊研修

金沢南部地区

11月18日(土)～19日(日)、野島公園研修センターにおいて、金沢南部地区BFC(少年消防クラブ)による一泊研修を行いました。4年振りの開催となりましたが、41人と、保護者11人、青少年指導員等スタッフ14名の合計66名が参加しました。



11月18日(土)曇り 14時に入所式を行った後、早速ワーク教室を行いました。学んだ結びを使ったゲームでは、チームごとに結びの速さと正確さを競い、大いに盛り上がりました。

夕食は、高学年が中心となって料理したカレーライスを皆でおいしくいただきました。

20時から、野島展望台までナイトウォークを行いました。冷たい風が吹いていましたが、参加者は日頃と違う夜の公園での活動に興味味でした。

11月19日(日)快晴 6時30分に起床、7時から研修センター前で元気にラジオ体操を行いました。体操後、朝食、各所掃除、退所準備を行い、最後のプログラム、バードコール(鳥を呼ぶ道具)作りに挑戦しました。各自がキットに組み紐をつけた後、色付けをしたりして、オリジナルのバードコール作りを楽しみました。振り返りの感想文を書いた後、研修センターから退所の言葉を頂き、2日間の研修を終えました。

久しぶりの一泊研修でしたが、保護者の協力もあり、大きなトラブルなくプログラムを終えることができました。一泊二日の短い研修でしたが、子ども達の好奇心の強さ、学年を超えたチームワークの深まりに触れることができ、むしろスタッフの方が多くの学びを得たと思います。



## 創志館に響くかるた取りの音

釜利谷地区

バタッ～、ザァ～ 百人一首の札を取る音が4年ぶりに創志館に響き、白熱した戦いが繰り広げられました。2024年辰年、釜利谷中学校生徒10人、西金沢学園中学校生徒20人による「第43回釜利谷地区中学校対抗百人一首大会」が1月8日(月)、成人の日に西金沢学園分校舎の創志館で開催しました。今回は諸事情で金沢中学校が不参加でとても残念でしたが、大会は無事に終了することができました。

上体を精一杯伸ばして札を取り小さくガッツポーズをする、目の前にある札を相手チームに取られて両手で顔を覆う、その隣の生徒が肩に手を添えて励ます。配られた札が無くなったところで勝者チーム全員が控えめな笑顔とガッツポーズで無邪気に喜ぶ姿を見ると、主催者も輪に入って万歳したいほど引き込まれ熱く微笑ましい戦いでした。結果、優勝は「西金沢学園Aチーム」、準優勝が「西金沢学園Bチーム」そして第三位が「西金沢学園Cチーム」と西金沢学園が総取りとなりました。



付き添いで観戦された釜利谷中学校木村校長先生、西金沢学園梶ヶ谷副校長先生から「白熱した戦いとなり生徒の真剣な姿に感銘した」と感想をいただき、生徒を称えた一方準備に追われた釜利谷地区青少年指導員11名の疲れもすっ飛びました。

本来であれば第46回の開催となる予定でしたが、コロナ禍で3年間開催が出来ず、そのため用具や運営要領など少々不慣れな部分もありましたが、11名が相互に連携、助け合っていつもの通りの運営が出来ました。次回は3校が揃った対抗戦になることを期待しています。

## 令和5年度 表彰者の紹介

### 神奈川県青少年育成成功労者

山崎 尚人さん(六浦)

### 神奈川県青少年育成活動推進者表彰

伊藤 実さん(六浦東)

三上 直孝さん(富岡第三)

### 神奈川県青少年指導員表彰

藤木 保広さん(六浦)

佐藤 明美さん(シーサイドタウン)

### 横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

20年 関澤 守明さん(六浦西)

齊藤 雅史さん(六浦西)

川島 康行さん(釜利谷)

15年 船津 雅秀さん(金沢南部)

10年 土橋 淳さん(富岡第一)

松田 繁さん(シーサイドタウン)

引田 昭男さん(金沢東部)

石井 哲二さん(金沢中部)

板倉 勝孝さん(金沢)

長瀬 克哉さん(六浦)

山岡 英治さん(六浦西)

関 善一郎さん(六浦西)

山本 寛さん(釜利谷)

### 金沢市青少年指導員永年勤続者顕彰(6年)

竹村 浩人さん(富岡第二)

加々美 信明さん(シーサイドタウン)

依田 久美子さん(金沢南部)

鈴木 秀幸さん(金沢)

木村 和希さん(六浦西)

### 金沢市社会福祉協議会社会福祉功労者表彰

上田 幸右さん(六浦東)

多年にわたり、積極的な青少年育成活動を行っていただいている青少年指導員の方々が、日頃の活動に対して表彰を受けられました。おめでとうございます。

## 編集後記

いきいきフェスタやみかん狩りなどの各地区のイベントから笑顔があふれた楽しさが伝わったでしょうか。次号でも青少年指導員の活動をわかりやすく伝えます。